（報道発表資料）
令和8年10月22日
北九州市保健所保健企画課
（担当：吉野、河﨑）
電話：093－522－5721

報 道 機 関 各 位

レジオネラ症の発生について

市内において、レジオネラ症（4類感染症）の発生届がありましたので、北九州市感染症公表要領に基づきお知らせいたします。

1 概　　要　令和8年10月21日（水）、レジオネラ症（肺炎型）の届出があった。

2 患 者 情 報　小倉北区在住、80代、女性

3 経　　過　10月4日（日）　発熱あり。
10月8日（木）　体動困難あり。
10月11日（日）　医療機関を受診し、入院となる。
脱水による頻脈、咳、呼吸困難あり。
10月13日（火）　尿検査を実施。
検査の結果、レジオネラ症と診断。

4 現在の状況　入院中（症状改善傾向）

5 感 染 原 因　不明

6 行 政 対 応　患者等に対する健康調査の実施と感染拡大防止の指導を実施。

7 レジオネラ症の北九州市への届出状況（単位：人）

（令和8年10月22日現在）

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	**令和8年**
発生届出数（単位：人）	10	12	17	18	7	**14**※

（※本件を含む）

8 その他

患者の個人情報については、プライバシー保護の観点から、提供資料の範囲内にさせていただきます。ご理解の上、特段のご配慮をお願いいたします。

9 レジオネラ症について
別添参照

別添

《レジオネラ症について》

➢ レジオネラ症とは

レジオネラ症は、レジオネラ属菌が原因でおこる感染症です。

急激に重症になって、死亡する場合もあるレジオネラ肺炎と、数日で自然に治る場合が多いポンティアック熱に分けられます。

レジオネラ肺炎は、乳幼児や高齢者、病人など抵抗力が低下している人や、健康な人でも疲労などで体力が落ちている人などが発病しやすいといわれています。

➢ 症状

・レジオネラ肺炎は、高熱、呼吸困難、筋肉痛、吐き気、下痢、意識障害などを主症状とする肺炎で、重症化して死亡する場合もあります。潜伏期間は2～10日です。

・ポンティアック熱は、発熱、寒気、筋肉痛などを主症状としますが、一般的には比較的軽症で、数日で軽快します。潜伏期間は1～2日です。

➢ レジオネラ属菌とは

レジオネラ症の原因となるレジオネラ属菌は、土の中や河川、湖沼など自然界に生息しています。

➢ 感染経路

レジオネラ症は人から人へは感染しません。

レジオネラ属菌は、もともと土壌や水環境に普通に存在する菌で、目に見えないほどの細かい水滴（エアロゾル）を発生させる人工環境（噴水の水景施設、ビルの屋上に立つ冷却塔、ジャグジー、加湿器等）や循環水を利用した風呂が屋内外に多くなっていることなどで、感染する機会が多くなっているものと考えられます。

➢ 感染防止のポイント

・水を利用する器具（加湿器、ミスト発生器など）を使用している場合は、こまめに洗ってヌメリなどを除去し、清潔な水に入れ替えるようにしましょう。

・24時間風呂などの循環式浴槽は、取扱い説明書に従い循環装置内の洗浄・消毒を徹底しましょう。

・自分自身の免疫力を落とさないように健康管理にも気をつけましょう。